

ゆうメール

叱り方検定は多くのメディアに取り上げていただき、おかげさまで協会には叱り方研修のご依頼も増えてきました。それを受けて今年度は叱り方に悩まれている子育て中の親御さんに向けた「めざせ！子叱り名人」を協会事業として開催することになりました。

親として子どもにどう関わればいいのか、悩みは子どもの成長と共に変わっていきませんが、その時その時に悩みながらも「こうして行こう！」と納得して進んでいきたいものですね。今回は「子どもからの SOS を打ち明けて貰える関係作り」についてお伝えしていきます。

◆SOS を打ち明けて貰える存在とは



子どもの様子がいつもと違う、口数が少ない、学校に行きたがらない、そんな変化があれば親はもちろん心配になり「何かあったの？」と聞きたくなります。子どもには子どもの世界があり、自分で解決するしかないこともあります。それとは別に犯罪が絡むようなことや集団でのいじめなど親が守らなければいけない場合もあります。そんな時誰よりも先に相談してほしい、何とか救いたいと親は思います。けれど子どもは「心配させたくない」「怒られるかもしれない」「言ってもムダ」など色々な思いから打ち明けてくれないかもしれない。深刻な内容であればあるほど子どもは話してくれないのです。そんなとき「思いきって話してみよう」そう思ってもらえる存在になるには、日々の関わりの積み重ねが必要なのかもしれません。ここで少し私の父と母に対する話し方の違いを例にしてみたいと思います。

私の母は、何か相談するとまず自分の思いや意見をそのままストレートに表現する人でした。私が希望大学に落ちたときには「実力が伴わなかったから仕方ないじゃない。他の受かった学校に行きなさい。」と言いました。母なりに私を心配して、何とか現実を受け入れて前に進んでもらいたいという思いからの言葉だったのでしょう。けれど当時の私にはとても傷ついた記憶があります。そんな母に対して、こちらから何か話そうとすると、次にどんな言葉が返ってくるだ

ろうと想像してしまい、口が重くなりました。

それに対し父は、まず私の話を最後まで遮らずに聴いてくれる人でした。特にこうした方がいいなどというアドバイスもしない人でしたので父から解決策が見つかる訳ではなかったけれど、ただ父なら安心して話せるそんな印象が今でも残っています。

良い知らせや喜んでもらえることは母にでも話せるのですが、悩みや失敗したこと、不安な時は父になら相談してみよう、そんな風に自分の中で振り分けていたように思います。

◆話すかどうかは子どもが決める

親が子どもの話を否定せず大切に聴く（傾聴）ことは、信頼して話してもらい関係を築く大切な関わりの一つです。とはいえ、子どもの話を傾聴するのは、実はかなり意識しないとできないことかもしれません。親は教育する立場からどうしても「知らないことや分らないことは教えなくてはいけない」と思ってしまいがちです。子どものためだと思い自分の経験値からつい「それは違う」「こうした方がいい」と言ってしまうがちです。もちろんやっちはいけないこと・間違った捉え方をしていれば正さなければなりません。このような関わりばかりだと子どもは「自分の考えは尊重されない」と感じて、いざという時に話してもらえない関係はなかなか築いていけません。

我が子といえども別の人格で、子どもが話そうと思わないかぎり話してはくれません。子どもに助けが必要となった時「お母さん(お父さん)に話してみよう」と思ってもらうためには、子どもに話をさせるから話してもらいに意識をシフトして耳を傾けることがとても大切です。

「いつも見守っているよ」そんな思いで話を大切に聴くことは、子どもの安心感と自立した力を育む関わりになるのではないのでしょうか。

(文責：山藤淑子)



〒654-0067
神戸市須磨区離宮西町 1-2-20-104
NPO 法人マザーズサポーター協会

「NPO 法人マザーズサポーター協会ニュースレター第 20 号」をお読みいただきありがとうございました。
過去に情報提供のご希望があったみなさまに、送付させていただいています。
今後も更に内容を充実させ、育てる側に役に立つ「自立型支援方法」の情報やイベントのご案内などを発信させていただきます。

不定期の季刊紙として書籍などでは読めない情報を郵送でお届けできるように、メンバーで頑張っています。
もしご不要の場合は、お手数ですが下記のメッセージシートにお名前を明記の上「不要」とご記入いただき FAX
を頂けたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

ご意見、ご感想などもいただけましたら、今後に反映していきたいと思えます。
いつでもお待ちしております。

感想

HP などに掲載させていただく場合がありますので、好きなお名前をお聞かせ下さい。

お名前

～信頼関係を作り、自立と当事者意識、考える力を育てる「自立型支援方法」～

<http://m-supporter.com>

FAX:078-731-0615

mothers@m-supporter.com

NPO 法人マザーズサポーター協会

